

じんけんコラム(11月)

じんけんコラム ホツと❤️スペース

ひとにやさしい、じぶんによさしい
あたたかい話題をとどけます！



スポーツを平和と人権の大切さを考える機会に

令和 8 年(2026 年)のサッカーワールドカップは、6 月 11 日から 7 月 19 日まで、アメリカ合衆国、カナダ、メキシコの 3 か国共同で開催され、世界の注目を集めました。日本代表チームも大いに健闘し、最後はスペインが優勝して幕を閉じました。

一方で大会期間中、試合に出場した選手や審判員への誹謗中傷が SNS に数多く投稿されました。ミスをしてしまった選手は過剰な非難を受け、勝敗を分ける判定を行った審判員は人格を否定するような厳しい書き込みを受けました。

SNS の誹謗中傷を減らすには、AI を使った監視や当局への削除要請、厳格な法的処分の明示が有効とされます。しかし本来あるべき姿は、ファン一人ひとりが人権尊重の精神のもと、選手や審判員への敬意と思いやりの気持ちを持って温かい応援をすることでしょう。

世界中で戦争・紛争や甚大な災害が起き、望む未来を絶ち切られてしまった人々があります。スポーツをしたり観戦を楽しんだりすることは当たり前ではありません。サッカーに限らずスポーツの国際大会は、チームや選手を応援しながら、審判員の判断と互いの国の文化を尊重し、平和と人権の大切さについて考える機会にすべきではないでしょうか。一人ひとりの心のあり方が問われています。